

■コメント

第1週は、定点医療機関が年末年始休診のため、各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

・インフルエンザの報告数が増加しています。例年、冬休みが終わり、学校が始まると急激に患者が増加するため、1～2週のうちにも注意報レベル(定点当たり10.0人)を超えると予測されます。

健康管理に十分注意し、流水・石けんによる手洗いや咳エチケットの励行、適度な湿度(50～60%)の保持など、感染予防対策を徹底しましょう。また、症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

・感染性胃腸炎は多い状況が続いています。流水・石けんによる手洗いの励行、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

・風しんの報告が2件ありました。2018年第30週(7月23日～7月29日)以降、首都圏を中心に、風しん患者の報告数が増加し、現在も報告が続いていますので、引き続き、注意が必要です。(次頁参照)

感染症情報等の詳細は以下のホームページ(広島市感染症情報センター)を参照してください。

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	273	8.03	5.01		小児科	流行性耳下腺炎	4	0.18	0.63	
	咽頭結膜熱	2	0.09	0.34		眼科	RSウイルス感染症	9	0.41	0.54	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21	0.95	1.11		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	98	4.45	4.78		眼科	流行性角結膜炎	6	0.75	0.59	
	水痘	5	0.23	0.55		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	-	-	0.17		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.12	
	伝染性紅斑	2	0.09	0.42		基幹	マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.17	
	突発性発しん	-	-	0.15		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.02		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.29	0.15	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	34
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1	女性(90歳代)
5	百日咳	2	2	女性(40歳代)、女性(50歳代)
5	風しん	2	2	女性(10歳代)、男性(40歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウイル ス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(感染性 胃腸炎 (ロタウ イルス)
報告数	広島市	第49週	47	5	90	202	11	4	4	6	9	1	17	-	6	-	-	-	-	1
		第50週	69	9	81	256	9	4	8	9	4	4	12	-	10	-	-	-	-	-
		第51週	115	8	85	304	15	7	3	8	4	2	12	-	7	-	-	-	-	1
		第52週	141	10	54	281	13	3	6	6	1	2	10	1	5	-	-	2	-	1
		第1週	273	2	21	98	5	-	2	-	-	4	9	-	6	-	-	2	-	2
定点当 たり	広島市	第49週	1.27	0.21	3.75	8.42	0.46	0.17	0.17	0.25	0.38	0.04	0.71	-	0.75	-	-	-	-	0.14
		第50週	1.86	0.38	3.38	10.67	0.38	0.17	0.33	0.38	0.17	0.17	0.50	-	1.25	-	-	-	-	-
		第51週	3.11	0.33	3.54	12.67	0.63	0.29	0.13	0.33	0.17	0.08	0.50	-	0.88	-	-	-	-	0.14
		第52週	4.15	0.42	2.25	11.71	0.54	0.13	0.25	0.25	0.04	0.08	0.42	0.13	0.63	-	-	0.29	-	0.14
		第1週	8.03	0.09	0.95	4.45	0.23	-	0.09	-	-	0.18	0.41	-	0.75	-	-	0.29	-	0.29
	全国	第51週	8.05	0.70	3.25	10.10	0.74	0.50	0.92	0.38	0.06	0.12	0.55	0.01	0.98	0.01	0.02	0.36	-	0.06
		第52週	11.17	0.57	2.20	7.58	0.54	0.32	0.70	0.31	0.04	0.10	0.55	0.02	0.81	0.02	0.02	0.33	-	0.05

■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.2)	11	女	2018/11/10	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.6) 熱性痙攣	2	女	2018/11/17	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.3) 上気道炎 気管支炎 鼻炎	1	男	2018/11/26	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
感染性胃腸炎	嘔気 下痢	不明	女	2018/11/28	糞便	サボウイルス
その他の消化器疾患	浮腫	2	男	2018/11/19	咽頭拭い液 尿	サイトメガロウイルス
その他の神経系疾患	発熱(39.0) 嘔吐 項部硬直 頭痛	12	男	2018/11/20	咽頭拭い液	Eコーウイルス18型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

●風しんに注意しましょう！～先天性風しん症候群を防ぐために～ ●

風しんはワクチン接種で予防可能な感染症ですが、妊娠中の女性は接種できません。妊婦への感染を防止するため、過去に風しんにかかったことがある、予防接種を受けたことがある又は風しんに対する抗体が陽性であると確認できている方以外の方は、予防接種を受けましょう。

【参考】

- ・風疹急増に関する緊急情報(2018年)(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/rubella.html>
- ・風しんについて(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/
- ・風しんに要注意！(健康推進課)
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1338441470548/index.html>
- ・広島市では無料の風しん抗体検査を行っています。【先天性風しん症候群を防ぐために！】(健康推進課)
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1395648504256/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2019年第1週(12月31日～1月6日)